

林正人 教授 略歴と主要著作目録

1. 生年月日・出生地

1956年1月28日 富山県西砺波郡福光町（現、南砺市福光）に生まれる。

2. 学 歴

1978年3月 立命館大学経営学部卒業
1983年3月 大阪外国語大学外国語学部英語科卒業
1990年8月 米国州立アリゾナ大学大学院修士課程英語教授法専攻修了
1999年12月 英国国立パーミンガム大学大学院修士課程（通信課程）英語教授法専攻修了
2005年3月 大阪外国語大学大学院言語社会研究科言語社会専攻博士後期課程修了
2007年3月 博士（言語文化学，大阪外国語大学）取得

3. 職 歴

1984年4月 私立高槻高等学校教諭（1988年12月まで）
1991年1月 私立叡明館教諭
1995年4月 北陸大学外国語学部専任講師
1997年1月 同大学同学部助教授
2002年11月 同大学同学部教授
2004年4月 同大学未来創造学部教授（学部改組により）
2005年4月 岐阜聖徳学園大学外国語学部助教授
2007年4月 同大学同学部准教授（職位名変更により）
2008年4月 同大学同学部教授
2009年4月 立命館大学経営学部教授（現在に至る）
2010年4月 大阪大学外国語学部非常勤講師（現在に至る）

4. 主な学内役職

2011年度 BKC 英語部会長
2013年度 言語教育センター副センター長

5. 所属学会

大学英語教育学会，大阪大学言語社会学会

6. 研究業績

・著書

<単著>

・ *Second Language Acquisition of English Prepositions*, 2008年9月，英宝社

<共著>

・ 『TOEIC®テストに役立つビジネス英単語』，2015年1月，成美堂（共著者：塩見佳代子，吉田秀生，高坂京子，上條武，リチャード・シルバー，オリバー・ローズ，ジェレミー・ホワイト，アロン・キャンベル）

・論文

・ 「第二言語習得における比喩的能力について－英語の前置詞の習得を例として－」『国際教育研究所紀

要』, 第 26 号, 1-10 頁, 2020 年 2 月

- ・ “The Perception of the English Preposition ‘Through’ by Japanese Learners of English” 『立命館経営学』, 第 52 号, 125-143 頁, 2014 年 1 月
- ・ “On Perception of the Verb ‘Give’ by Japanese Learners of English” 共著 (第一著者) 『立命館言語文化研究』, 第 24 巻第 3 号, 159-174 頁, 2013 年 3 月 (共著者: トーマス・マーク)
- ・ 「日本人学習者による英語の限定詞句の習得について」共著 (第二著者) 『岐阜聖徳学園大学紀要』, 第 49 号, 85-109 頁, 2010 年 2 月 (共著者: 丹羽都美)
- ・ “Conceptual Transfer in Second Language Acquisition” 『岐阜聖徳学園大学教育実践科学研究センター紀要』, 第 8 巻, 213-223 頁, 2009 年 2 月
- ・ “The Acquisition of the Verb ‘make’ by Japanese Learners of English” 『岐阜聖徳学園大学紀要』, 第 47 集, 25-45 頁, 2008 年 2 月
- ・ 「大学生の英作文に見られる誤りについて」 『国際教育研究所紀要』, 第 14 号, 68-75 頁, 2007 年 10 月
- ・ “Acquisition of English Spatial Prepositions by Japanese Learners of English with Particular Reference to their Non-Spatial Senses” 博士論文, 大阪外国語大学, 2006 年 12 月
- ・ “On Perception of the Preposition ‘At’ by Japanese Learners of English” 『岐阜聖徳学園大学紀要』, 第 45 集, 29-42 頁, 2006 年 2 月
- ・ “Japanese students’ learning style preferences in the EFL classroom” 共著 (第一著者) 『北陸大学紀要』, 第 28 号, 83-93 頁, 2005 年 3 月 (共著者: ドナルド・チェリー)
- ・ “Task-based Reading Activities for Japanese University Students” 『国際教育研究所紀要』, 第 11 号, 24-38 頁, 2004 年 8 月
- ・ 「日本人学習者による英語の前置詞の習得に関する研究」 『IRICE PLAZA』, 第 13 号, 23-35 頁, 2003 年 3 月
- ・ “A Study on Japanese Learners’ Acquisition of the English Prepositions ‘In’ and ‘On’” 『北陸大学紀要』, 第 25 号, 183-195 頁, 2002 年 3 月
- ・ 「日本人学習者による英語の多義語の習得研究－現状と課題」 『IRICE PLAZA』, 第 11 号, 160-169 頁, 2001 年 3 月
- ・ “The Acquisition of the Prepositions ‘In’ and ‘On’ by Japanese Learners of English” 『大学英語教育学会紀要』, 第 33 号, 29-42 頁, 2001 年 3 月
- ・ 「高等学校英語教科書の中の男性・女性」 『国際教育研究所紀要』, 第 6 号, 20-24 頁, 1999 年 8 月
- ・ “An Analysis of High School English Reading Textbooks in Japan: Is There Gender Bias?” 『IRICE PLAZA』, 第 9 号, 68-79 頁, 1999 年 4 月
- ・ 「音読の内容理解に及ぼす影響に関する実証的研究 (2)」 『北陸大学紀要』, 第 22 号, 243-250 頁, 1999 年 3 月
- ・ “Cross-Cultural Conflicts in the EFL Classrooms in Japan” 『北陸大学紀要』, 第 21 号, 151-159 頁, 1998 年 3 月
- ・ 「音読の内容理解に及ぼす影響に関する実証的研究 (1)」 『北陸大学紀要』, 第 20 号, 169-178 頁, 1997 年 3 月
- ・ 「コミュニケーション能力の育成をめざすライティング指導」 『国際教育研究所紀要』, 第 3 号, 14-23 頁, 1995 年 12 月

・ 調査報告・翻訳・書評等

(調査報告)

- ・ 「日本人学習者による英語の前置詞の習得について」 『大阪外国語大学言語社会学会研究会報告集』, 第 3 号, 157-165 頁, 2001 年 7 月
- ・ “Cloze Testing: Correlation between SEMAC Scoring and Exact Word Scoring” 『北陸大学英語教育研究会紀要』, 第 2 号, 1-10 頁, 2000 年 3 月

- ・ “Developing EFL Learners’ Pragmatic Awareness (1)” 『北陸大学英語教育研究会紀要』, 第 1 号, 55-64 頁, 1998 年 11 月

・ 学会報告その他

(学会報告)

- ・ 「モチベーションを高め維持する英語教育の試み」 共同 (大学英語教育学会第 55 回国際大会 2016 年 9 月)
- ・ 「立命館大学経営学部における留学生派遣プログラム」 共同 (大学英語教育学会第 53 回国際大会, 2014 年 8 月)
- ・ 「立命館大学経営学部の新カリキュラムにおける到達目標とその評価」 共同 (大学英語教育学会第 53 回国際大会, 2014 年 8 月)
- ・ 「グローバル人材を育てる英語教育をめざして～立命館大学経営学部の新英語カリキュラムの概要と成果～」 共同 (2014 年度大学英語教育学会関西支部春季大会, 2014 年 6 月)
- ・ 「日本人学習者による英語の前置詞の習得について」 単独 (大阪外国語大学言語社会学会第 12 回定例研究会, 2000 年 10 月)

(講演)

- ・ 「立命館大学経営学部の英語教育～国際経営学科の英語教育プログラムを中心に～」 (国際教育研究所 第 184 回月例研究会, 2019 年 10 月)

